

院内トリアージ実施基準

●院内トリアージとは？

医師や看護師が来院された患者様の症状を確認し、治療の優先度を判定する仕組みです。このシステムにより緊急度の高い患者様を優先的に適切な医療を提供することができます。

●院内トリアージの対象者

下記の時間帯に受付をした救急搬送患者を除く外来患者様を対象とします。

院内トリアージの結果、緊急レベルが高いと判断した場合には、すでにお待ちの患者様より先に診療を開始させていただく場合があります。

平日（月～金曜日）： 17時以降

土曜日・日曜日・祝日： 終日

●院内トリアージ手順

- ① 受診理由、来院時の症状、問診内容を確認
- ② バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸、体温、意識レベル)を確認
- ③ 院内トリアージの判定基準をもとに、緊急度区分を判断
- ④ 緊急度区分・状況に応じて再評価 ※状態変化があれば、診察の順番が変わることもあります

トリアージ分類（JTAS:日本版救急インサイドトリアージに準拠）

緊急度レベル	区分(呼称)	状態の目安	診察目標時間および再評価時間	加療場所
レベル1	蘇生	心肺停止、生命維持が不可能	直ちに（0分）	救急室
レベル2	緊急	生命の危機が切迫、意識障害、重篤な呼吸困難	15分以内	救急室
レベル3	準緊急	状態が急速に悪化する可能性（激しい腹痛など）	30分以内	診察室
レベル4	低緊急	状態は安定しているが、検査や処置が必要	60分以内	診察室
レベル5	非緊急	急激な悪化の可能性が低い、慢性症状など	120分以内	診察室

●夜間・休日の受診の流れ

